

石綿作業主任者講習実施日程

11月20・21日 技術研修センター
 11月25・26日 熊谷勤労会館
 11月27・28日 技術研修センター
 12月9・10日 川口鳩ヶ谷支部
【受講料】10,000円
申し込みは所属支部へ

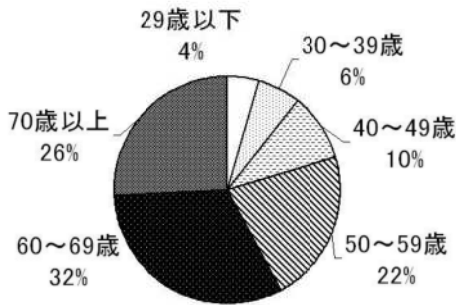


住まいのネットワークとは

住まいのネットワークは規約も会費もないゆるやかな組織で、この情報誌を読むことが会員の資格です。学習・交流を通じ、中小業者の協同化を目指しています。

発行所：埼玉土建一般労働組合
 さいたま市南区鹿手袋6-18-12
 電話 048-863-6293

2005年住宅リフォーム市場規模年代別シェア



○代に達する塊の世代が六
 ことと、工事
 件数の増加
 「量」の増加
 とともに、一
 件あたりの工
 事金額「質」
 の増加も加わ
 り、大きく市
 場が拡大し、
 二〇一〇年に
 は七兆四千亿

市場規模を年代別に
 見ると、五〇歳以上が
 約八割もの市場を占有
 しており、「今後生活
 するために住宅に掛け
 られる費用の総額」に
 ついてのアンケートで
 は約五三〇万円という

プラスαの提案力がカギ

結果になった。
 大小問わずあらゆる
 事業者が住宅リフォー
 ム市場に参入しており、
 住対のような「改修・
 修理ができる」ことだ
 けでは差別化にならな
 い。住生活基本法によっ

て今後増加するだろう
 「耐震」・「省エネ」・
 「バリアフリー」といっ
 た「性能リフォーム」
 だけでなく、子育て卒
 業世代や退職世代への
 ライフスタイルに合わ
 せた「住まいの再設計」
 を提案できることが差
 別化につながるだろう
 と指摘している。

矢野経済研究所は、
 ○五年のリフォーム市
 場規模は六兆五千億円
 と推計している。○五
 年は悪質リフォーム、
 耐震偽装事件などリフォー
 ム業界だけでなく建築
 業界全体への不信感が

高まった一年だった。
 その中でリフォーム市
 場が拡大したことは
 「力強い回復トレンド」
 にあると考えられると
 している。
 ○六年から一〇年の
 中期的な見込みでは団
 塊の世代が六

円に達すると予測して
 いる。その後一五年ま
 では「世帯数の増加」
 「住宅ストック」の増
 加、更に「再リフォー
 ム」の増加により二〇
 年には九兆円と長期的
 にも拡大していくと見
 ている。

リフォーム市場は力強く拡大 五〇歳以上が市場の8割を占める

住宅市場 将来推計

住宅リフォーム市場は 一〇一〇年には七兆四〇〇億円の規模に
 二〇年には九兆円の規模に成長すると、矢野経済研究所が住宅市場
 の将来推計をまとめた。リフォーム市場の八割を五〇歳代以上の支
 出が占めており、団塊の世代が退職時期を迎えることにより、中長
 期的に住宅リフォーム市場が拡大していくと推測している。

高齢者特別ローン講習会

「高齢者向け返済特例制度」は月々の返済は利息のみで、
 元金は、死亡時に担保物件を処分するなどして、相続人が
 一括して返済するというしくみ。「全建総連カウンセラー
 制度」は①カウンセリングの代行②「担保物件評価」を自分
 が選んだ不動産鑑定士に依頼することができます。

資格を取得して営業の幅を広げましょう

【日時】12月3日(日) 9時～17時

【会場】埼玉建工会館

【参加資格】建築士、技能士、施工管理技師、増改築相談
 員等の有資格者

【参加費】無料 ※カウンセラーとして登録する場合は登
 録料が2万円前後かかります。

【申し込みは各支部まで】

知らなかったではすみません！

マニフェスト報告義務づけ

環境省は排出業者が管理・保管することになってきているマニフェストについて、都道府県に提出することを義務づける措置を実施に移した。これは平成二二年に施行され、経過措置中であつたもの。産業廃棄物の排出事業者となる工務店等にとつては、管理責任が一層重くのしかかることになる。

廃棄物排出事業者は平成二〇年六月三〇日

カで 最終処分までのマニフェスト票管理が行われているのは半数以下という自治体もあり、不法投棄等が多く行われているのが実態。環境省が行った調査では、許可業者の六〇%、無許可業者の二〇%、排出事業者の八%、で不法投棄が発見されている。マニフェスト提出の義務づけで、不法投棄の件数は低減すると思われるが、書類の管理や保管、処理が適正に行われているかどうかの確認等、工務店の負担が増すのは避けられない。

来年四月から交付されるマニフェスト票については、途中で見失うというようなことがあれば不法投棄等を疑われることになり、責任を問われるのは必至だ。

マニフェスト制度が徐々に浸透している一

セミナーのご案内

◆融資制度学習会◆

県や市町村の事業資金貸し付けも厳しくなっています。3年分の決算書をそろえるなど、早めの準備が必要です。融資を考えている方はぜひ参加しましょう。

【日時】11月8日(水)夜7:30
【会場】埼玉土建会館
【参加費】無料

◆住宅センター交流会◆

住宅センターの活動や経験の交流と、学習を行い、市民に頼られる住宅センターづくりを目指します。住宅センターの仲間、立ち上げようとしてしている仲間の参加をお待ちしております。

【日時】11月15日(水)夜7:30
【会場】埼玉土建会館

お問い合わせは 埼玉土建本部まで
TEL048-863-6293

十月十五日 埼玉
建技術研修センターを
会場に、住まいのネット
ワーク「顧客の囲い
込み戦略」学習会が開
催されました。

「仕事確保にむけた経営戦略」を学ぼうと企画したもので、十三支部から二十人の仲間が参加しました。

講師は、日本住宅新聞編集長宮澤秀雄氏と北新建設代表で前千葉土建委員長の佐藤良治氏の二人でした。今回は、宮澤編集長の講演概要をお伝えします。

地方ビルダーが

首都圏に進出

ポラスやアキュラなどのパワービルダーに加え、九州や石川などから地方で成功したビルダーが、荒されつくされた首都圏市場に進出してきています。地方からきたビルダーは高い単価を出して地場工務店を下請にしていますが、アフターは考えていませんから、工務店も使い捨てです。

顧客囲い込み講座報告① 「地域で信頼される工務店」

講師：宮澤 秀雄氏
(日本住宅新聞編集長)



講演する日本住宅新聞の宮澤編集長

したり 思いを伝えるなどの活動を行っています。大工さんは木を刻んでいるだけでは、すまない時代となっています。

価格競争では負ける
プレカットの箱形・クロス張りのハリボテ住宅で大手住宅企業やビルダーと競争したのでは、当然価格競争力で負けてしまいます。

伝統技法を活かした
漆喰や珪藻土でシックハウスとは無縁な家づくりや高気密・高断熱・計画換気の技術を活かし、省エネ性能を明示した家づくりなど、消費者にアピールできる住宅づくりをして、地域の顧客をがっちりつかんでいくことが必要です。

伝統工法が新しい
伝統工法を学ぶ大工さんも増え、丹波設計の大工塾に地方からも勉強に來ています。仲間の応援ネットワークが作られ、全国レベルで学びあっています。HPでは「職人が作る木の家ネット」や「無印職人の会」が、自分たちの仕事を紹介